

家庭編

平成30年度「ごみゼロやまがた県民運動」

山形県では、全国一ごみの少ない県を目指して、「第2次山形県循環型社会形成推進計画（中間見直し版）」を策定し、各種施策を実施しています。「ごみゼロやまがた推進県民会議」では、それぞれの家庭や会社で取り組むべき「ごみゼロやまがた県民運動」展開方針を策定し、全県的な県民運動を推進します。本県の「1人1日当たりのごみの排出量（平成28年度実績）」は、921gで全国◎位です。平成28年度における全国1位は〇〇県の△gとなっています。

1人1日当たり約100gごみを減らして、全国一ごみの少ない県を目指しましょう
以下の3つの運動の中で出来ることから始めましょう

食品ロス削減運動

国民1人1日当たりの食品ロス(食べられるのに廃棄される食品)量は、約134gに及び、茶碗約1杯のご飯の量に相当します。

(出典：農林水産省及び環境省「平成26年度推計」)

○賞味期限と消費期限、実は違います

- ・「賞味期限」は「おいしく食べるのできる期限」、「消費期限」は「食べても安全な期限」です。
- 賞味期限を過ぎててもすぐ捨てず、においなどで食べられるか判断しましょう。

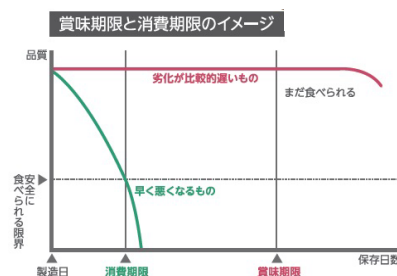
○冷蔵庫内に『忘れられた食材』は、ありませんか

- ・買い物に出かける前に冷蔵庫内をチェックし、必要な量だけ購入しましょう。

○食べられる部分まで捨てないで

- ・調理はできるだけ捨てる部分を少なくし、余った料理は作り替えましょう。

環境にやさしい料理レシピ (⇒ インターネットで検索)



生ごみの水切り・堆肥化運動

生ごみの約8割は水分が占めています。
 水分を減らすだけで、ごみを大きく減らすことができます。

○生ごみの水切りでゴミ袋のダイエット

《水切りアイデアの一例》※一晩置くだけで、水分量を49.2%削減できます。

- ① ペットボトル(2L)へ小石を入れる。重さは約2,500gになる。
- ② 三角コーナー等の生ごみの上にペットボトルを置く。



○生ごみ堆肥づくりにチャレンジしよう

- ・生ごみを自宅で処理することで、堆肥として家庭菜園などで活用できます。
- 市町村では生ごみ堆肥化装置への助成を行っているところがあります。

ごみの分別徹底運動

○雑紙分別で燃やせるごみが大幅減!?

- ・リサイクルできる紙類を市町村の雑紙回収に出すことで燃やせるごみを大きく減らせます。

○店頭回収で買い物ついでにリサイクル

- ・お買い物の際はキレイに洗った食品トレイや牛乳パックなどをマイバッグなどに入れて持っていき、スーパー等の店頭回収に出しましょう。

○捨てないで! 家庭に眠るレアメタル

- ・不要となったパソコンや携帯電話などの小型家電にはレアメタルなどの貴重な資源が含まれています。各市町村の回収に出しましょう。

○資源回収で地域に貢献しよう!

- ・町内会や子供会などが行っている資源の集団回収に積極的に協力しましょう。



ごみゼロやまがた
 県民運動キャラクター
 『ごみゼロくん』

発行：ごみゼロやまがた推進県民会議

お問い合わせ：ごみゼロやまがた推進県民会議事務局

山形県環境エネルギー部循環型社会推進課

TEL:023-630-2302 FAX:023-625-7991